

（10）博物館・資料館

1）施設概要

① 施設一覧

本市の博物館・資料館は、木場浮立資料館、島瀬美術センター及び浦頭引揚記念資料館等の8施設です。

木場浮立資料館は、上木場グラウンドと併設しています。うつわ歴史館は、三川内地区公民館内に設置しています。少年科学館は、総合教育センター内に設置しています。

世知原炭鉱資料館は、県の有形指定文化財です。

図表 設置目的

施設名称	設置目的
1 木場浮立資料館	県無形民俗文化財(芸能)「木場浮立」の資料を展示公開し、木場浮立の保存継承活動の場を提供することによって、文化財の保護・啓発及び木場地区の地域文化振興を図るため
2 島瀬美術センター	美術、考古、民俗などに関する資料の収集保存、展示及び調査研究を行い、併せて美術品等の展示をする場を提供するため
3 浦頭引揚記念資料館	太平洋戦争終結に伴い海外から本市浦頭に引き揚げられた人々の足跡を郷土の歴史的遺産として後世に伝え、恒久平和を祈念するため
4 うつわ歴史館	佐世保市のうつわの歴史、伝統産業である三河内焼の歴史を展示公開することにより、文化財の保護・啓発及び地域文化振興を図るため。
5 小佐々郷土館	小佐々地区の歴史、民俗その他の資料を市民の閲覧に供するため
6 世知原炭鉱資料館	世知原地区の炭鉱の歴史その他の資料を市民の閲覧に供するため
7 宇久島資料館	宇久地区の歴史、民俗その他の資料を市民の閲覧に供するため。
8 少年科学館	児童及び生徒の科学に対する関心を深め、豊かな創造力と研究心を養い、未来の科学技術の発展を担う青少年の育成に寄与するため

図表 施設一覧

施設名称	住所	建築年度 (年度)	延床面積 (㎡)	併設施設			備考
				支所	公民館	その他	
1 木場浮立資料館	黒髪町2442番地	昭和55	197.99			●	上木場グラウンド
2 島瀬美術センター	島瀬町6番22号	昭和57	3,269.15				
3 浦頭引揚記念資料館	針尾北町824番地	昭和61	165.00				
4 うつわ歴史館	三川内本町357番地1	平成8	547.04	●	●		三川内地区公民館内
5 小佐々郷土館	小佐々町西川内143番地5	昭和63	352.00				
6 世知原炭鉱資料館	世知原町栗迎83番地5	明治45	280.40				
7 宇久島資料館	宇久町平2386番地	昭和56	215.74				
8 少年科学館	保立町12番31号	平成22	1,560.37		●	●	総合教育センター内 清水地区公民館
合計		—	6,587.69	1施設	2施設	2施設	

② 事業内容

博物館・資料館の各施設は、設置目的に合った関連資料等を保存・展示しています。その中で島瀬美術センターや少年科学館では、各種講座、ワークショップ等の開催等も行っています。

図表 事業内容

施設名称	事業内容
1 木場浮立資料館	①木場地区に伝承保存される「木場浮立」に関連する資料を展示し公開 ②県無形民俗文化財「木場浮立」の保存のため、その伝承（練習）活動場所を提供
2 島瀬美術センター	①企画展の開催（特別展・館所蔵品展等） ②教育普及・企画展関連ワークショップの開催 ③実技講座「デッサン教室」 ④貸館事業（画廊運営） ⑤館内施設・設備の整備 ⑥館年報の発行 ⑦館収蔵資料の整理及び資料の収集・調査
3 浦頭引揚記念資料館	①浦頭引き揚げに関する資料の展示
4 うつわ歴史館	①世界最古の土器「豆粒文土器」から現代の三川内焼まで、郷土の歴史を「うつわ」の観点から捉えた展示
5 小佐々郷土館	①小佐々地区に関する歴史、民俗その他の資料の展示
6 世知原炭鉱資料館	①世知原地区に関する歴史資料、特に昭和45年閉山まで盛んだった炭鉱資料を中心に収集・展示・保存
7 宇久島資料館	①宇久島に関する歴史、民俗その他の資料の展示
8 少年科学館	①主に児童及び生徒を対象とした各種の科学分野の講座(教室)の開設及び研究活動の指導奨励 ②プラネタリウムの運営 ③天体観測室の運営 ④理科教育に関する各種調査の実施、資料の収集、作製及び提供 ⑤各種関係団体、機関等との連絡及びその活動の支援

③ 開館時間等

図表 開館時間等

施設名称	開館時間	休館日	開館日数 (平成22年度)
木場浮立資料館	午前9時～午後5時	毎週月曜日、祝日、年末年始 4月15日から5月1日まで	342日
島瀬美術センター	午前10時～午後6時	毎週火曜日、年末年始	310日
浦頭引揚記念資料館	午前9時～午後6時 (11月から3月までは午後5時まで)	年末年始	360日
うつわ歴史館	午前9時～午後5時	年末年始	339日
小佐々郷土館	午前9時～午後5時	年末年始	359日
世知原炭鉱資料館	午前9時～午後5時	年末年始	359日
宇久島資料館	午前9時～午後5時 (平日は通常閉館で希望により対応している)	年末年始	359日
少年科学館	午前9時～午後5時	毎週火曜日、祝日、年末年始	131日

④ 配置状況

博物館・資料館8施設は、北部エリアに2施設、佐世保中央地域に2施設、日宇エリアに1施設、東部エリアに2施設、宇久地域に1施設配置しています。

図表 配置図



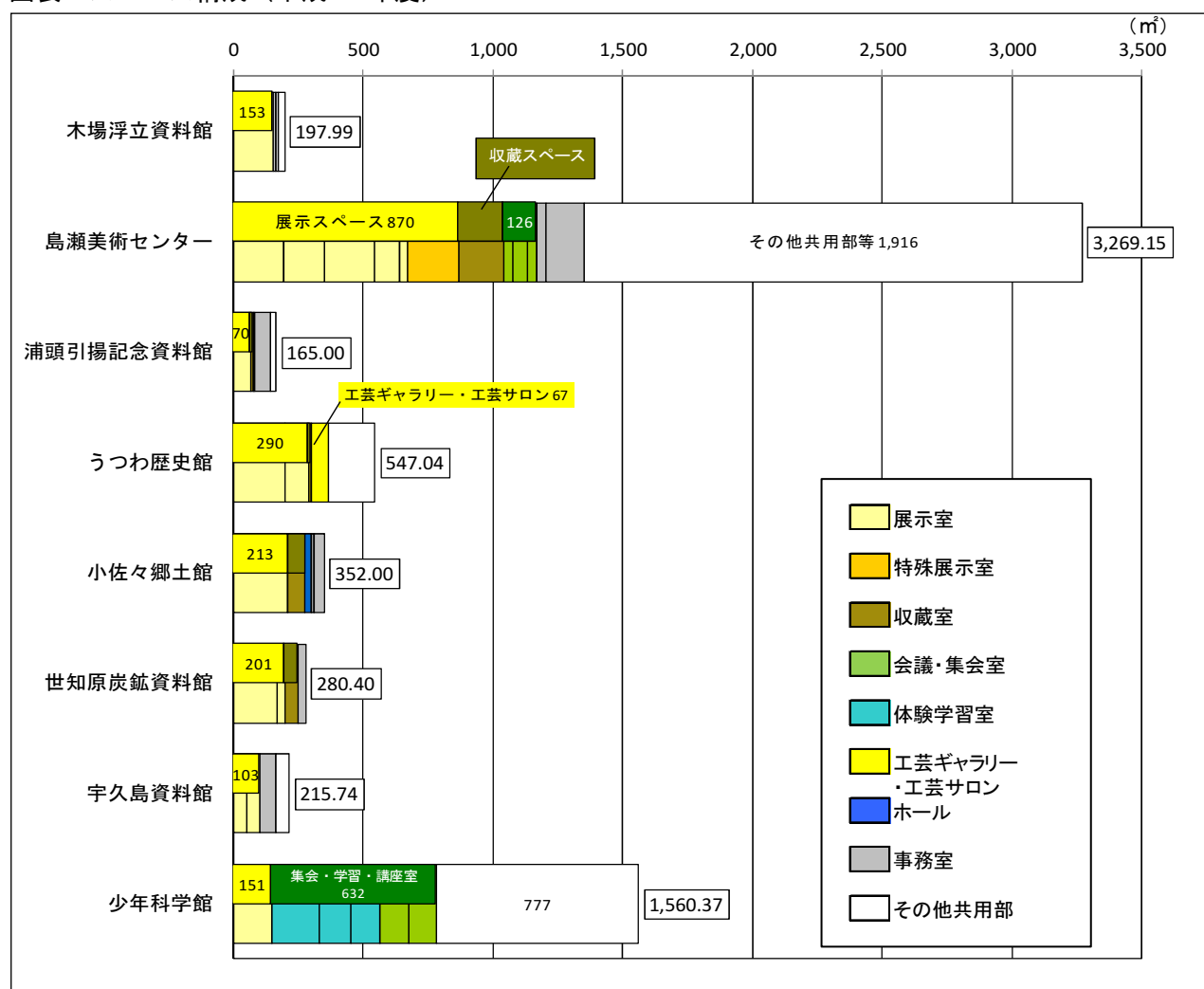
⑤ スペース構成

博物館・資料館のうち、最も小さい施設が浦頭引揚記念資料館 165 m²、最も大きい施設が島瀬美術センター3,269 m²となっています。

木場浮立資料館、島瀬美術センター、浦頭引揚記念資料館、うつわ歴史館、小佐々郷土館、世知原炭鉱資料館、宇久島資料館は、展示室と収蔵庫を中心とした施設です。

少年科学館は、展示室の他に体験学習室や会議・集会室を中心とした施設です。

図表 スペース構成（平成 22 年度）



2) 実態把握

① 建物状況

■ 博物館・資料館の建物総合評価

平成22年度の博物館・資料館8施設の建物状況について評価を行いました。

図表 建物状況（平成22年度）

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応			⑤維持管理					
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または後修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費
1	木場浮立資料館	昭和55	198	×	30	—	30	—	×	×	×	×	×	×	×	0	0	0	博物館・資料館は施設規模等が大きく異なり、展示内容等により維持管理費が大きくことなるため、維持管理費の評価は行っておりません		
2	島瀬美術センター	昭和57	3,269	—	28	—	28	○	○	○	○	○	×	×	×	6,055	5,969	479			
3	浦頭引揚記念資料館	昭和61	165	—	24	—	24	—	×	○	○	○	×	×	×	514	2,726	18			
4	うつつ歴史館	平成8	547	—	14	—	14	○	○	○	○	○	×	×	×	—	—	—			
5	小佐々郷土館	昭和63	352	—	22	—	22	—	×	○	×	×	×	×	×	149	160	0			
6	世知原炭鉱資料館	明治45	280	×	98	昭和57	28	—	×	×	×	×	×	×	×	32	668	112			
7	宇久島資料館	昭和56	216	×	29	—	29	×	×	○	×	×	×	×	×	187	155	521			
8	少年科学館	平成22	1,560	—	0	—	0	○	○	○	○	○	○	○	○	902	716	8			
合計・平均			6,588													7,840	10,394	1,138	—	—	—

①、③、④の記載例	実施済み⇒ ○ 未実施⇒ × 不要⇒ —	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備等
-----------	----------------------------	--

※うつつ歴史館の維持管理費は三川内地区公民館に含んでいます

※博物館・資料館は施設規模等が大きく異なり、展示内容等により維持管理費が大きくことなるため、維持管理費の評価は行っておりません。

木場浮立資料館、宇久島資料館は、耐震安全性が確保させていません。また、築30年以上を経過し、これまで大規模改修等の老朽化対策を行っておらず、老朽化が進行しています。今後、建替えまたは大規模改修等の検討が必要です。【パターン①】

島瀬美術センター等3施設は築20年以上を経過しており、今後老朽化対策が必要となります。既に島瀬美術センターでは、設備の老朽化が課題となっており、現在、空調機器等の更新（もしくは刷新）を行っています。今後も計画的な老朽化対策を検討していく必要があります。【パターン③】

うつわ歴史館は、比較的新しい施設ですが、環境対応が完了していないため、今後の計画的な改修等での対応が望まれます。【パターン④】

少年科学館は、比較的新しい施設で、特に問題はありません。

世知原炭鉱資料館は、県の有形指定文化財となっている建物です。耐震化、老朽化対策、バリアフリー対応等については対象外としています。

図表 建物総合評価結果

	パターン① 耐震性 老朽化	パターン③ 今後 老朽化	パターン④ 環境対応	特に問題なし
評価	<p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・環境対応が未完了 ⇒今後、環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p>	<p>・特に問題がない施設</p>
	<p>該当施設 建築年度 木場浮立資料館 昭和55 宇久島資料館 昭和56</p> <p>< 2 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 島瀬美術センター 昭和57 浦頭引揚記念資料館 昭和61 小佐々郷土館 昭和63</p> <p>< 3 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 うつわ歴史館 平成8</p> <p>< 1 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 少年科学館 平成22</p> <p>< 1 施設 ></p>
コメント	<p>・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、耐震化と老朽化対策が必要です。</p>	<p>・いずれも新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>	<p>・少年科学館は新しい施設で、現状では特に問題はありません。</p>

② 利用状況

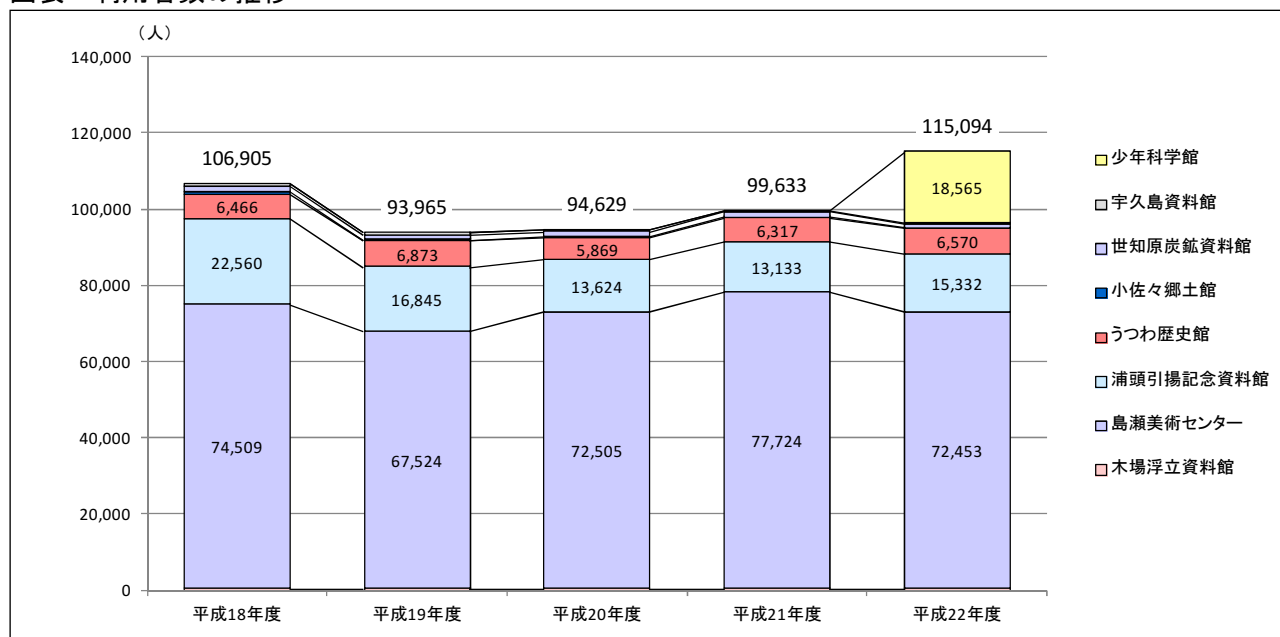
■ 利用推移及び施設別年間利用者数

博物館・資料館8施設の平成22年度の利用者は、延11万5,094人です。

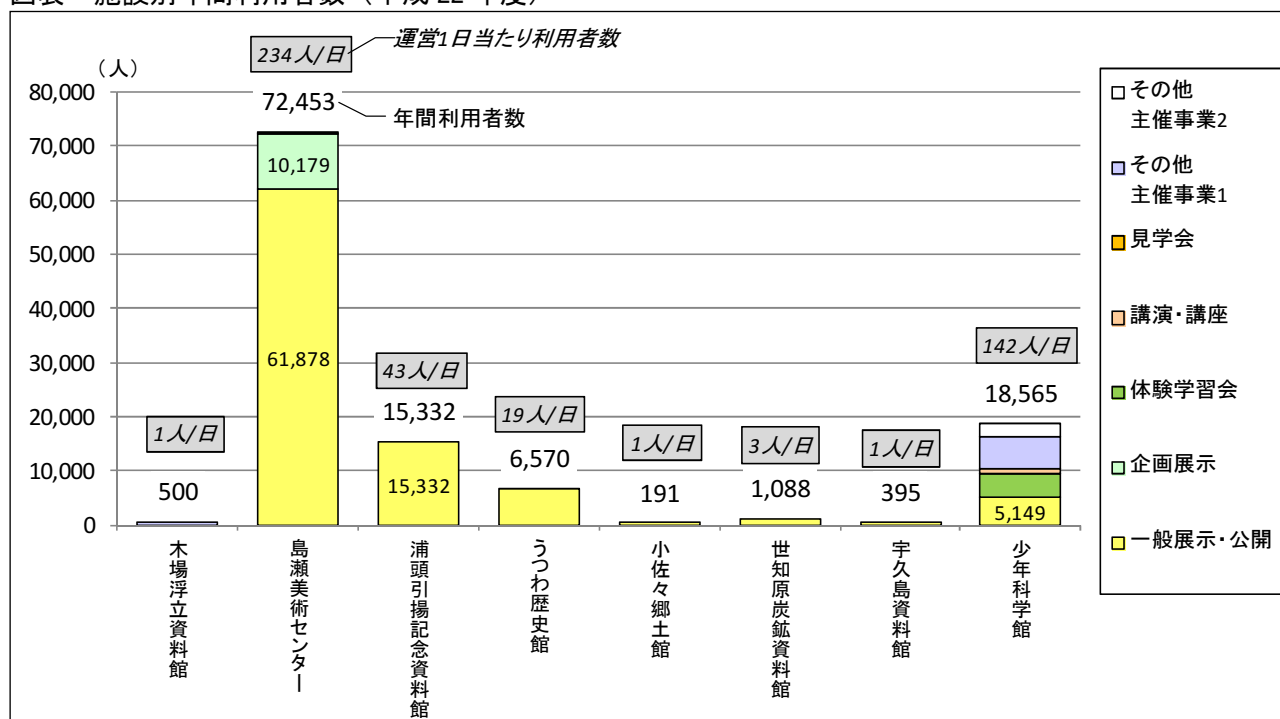
直近5年間の特徴をみると、平成19年度の9万3,965人から平成22年度の11万5,094人まで微増傾向ですが、平成22年度に開館した少年科学館を除く推移でみると平成22年度は、微減しています。

施設別の利用者数をみると、小佐々郷土館が最も少なく191人（1日当たり約1人）、島瀬美術センターが最も多く7万2,453人（1日当たり約234人）となっています。

図表 利用者数の推移



図表 施設別年間利用者数（平成22年度）



③ 運営状況

■ 運営人員

博物館・資料館8施設のうち、島瀬美術センター等6施設は、市直営で運営しています。

木場浮立資料館は、地域の自治会による自主運営を行っています。浦頭引揚記念資料館は、業務を委託して運営しています。

図表 運営人員（平成22年度）

（人）

		木場浮立資料館	島瀬美術センター	浦頭引揚記念資料館	うつわ歴史館	小佐々郷土館	世知原炭鉱資料館	宇久島資料館	少年科学館	合計
運営形態		地域による自主運営	直営	委託	直営	直営	直営	直営	直営	
施設維持管理等	直営	一般職員	2.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.1	3.0	5.7
		嘱託職員	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	委託	その他人員	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	計		4.0	1.0	0.2	0.2	0.2	0.1	3.0	8.7
施設利用に関する受付・案内	直営	一般職員	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2
		再任用職員	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
		嘱託職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		臨時職員	0.0	0.0	0.5	0.2	0.2	1.0	0.0	1.9
	委託	その他人員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計		0.0	0.0	1.5	0.4	0.2	1.0	0.0	3.1
各種講座・講演会等の企画・開催	直営	一般職員	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
		嘱託職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
		臨時職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
	計		1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	3.0
その他		3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.17	4.2	
合計	直営	一般職員	3.0	0.0	0.2	0.4	0.2	0.1	3.0	6.9
		再任用職員	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
		嘱託職員	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.0
		臨時職員	0.0	0.0	0.5	0.2	0.2	1.0	1.0	2.9
	委託	その他人員	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.77	1.8
	その他		3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	4.2
	計		0.0	8.0	1.0	1.7	0.6	0.4	1.1	6.94

④ コスト状況

博物館・資料館 8 施設の年間トータルコストは、1 億 6,615 万円です。

内訳をみると、施設にかかるコスト（人件費、修繕費、改修費、光熱水費等）は 8,382 万円（約 50%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は 3,187 万円（約 19%）です。減価償却相当額は 5,046 万円です。

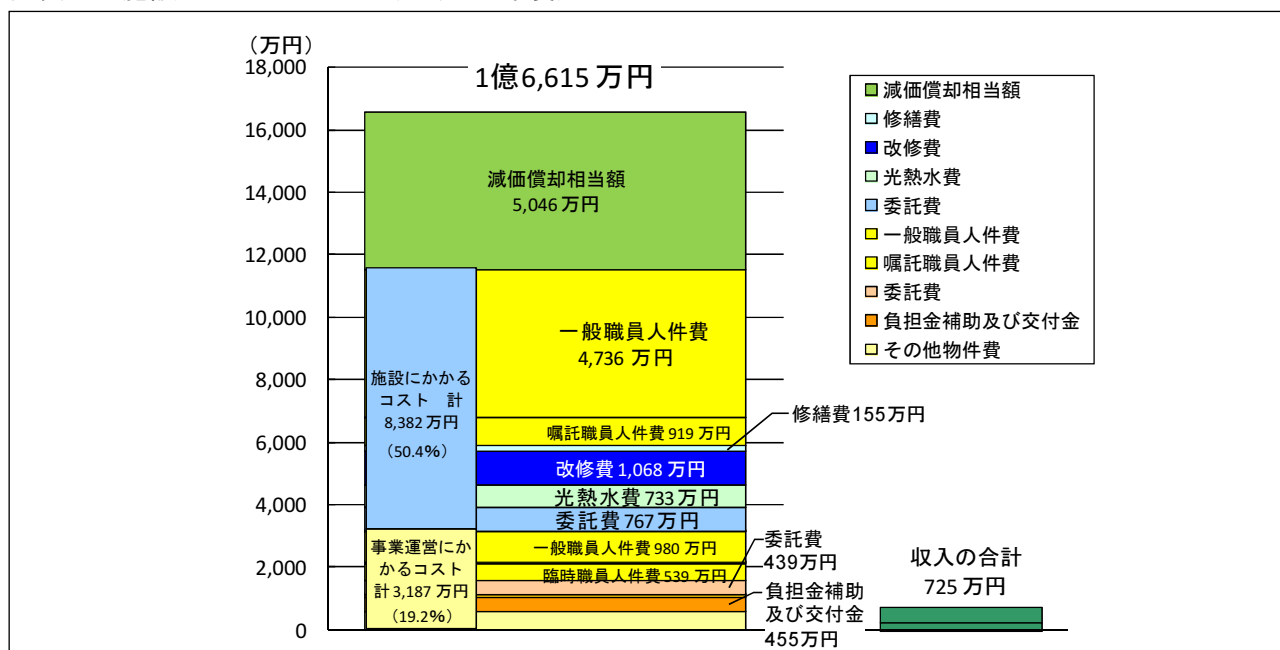
図表 施設別行政コスト計算書（平成 22 年度） (円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		木場浮立資料館	島瀬美術センター	浦頭引揚記念資料館	うつわ歴史館	小佐々郷土館	世知原炭鉱資料館	宇久島資料館	少年科学館	合計
施設にかかるコスト	一般職員人件費	816,500	16,330,000		1,633,000	1,633,000	1,633,000	816,500	24,495,000	47,357,000
	嘱託職員人件費		9,194,646							9,194,646
	修繕費		906,990				112,350	520,842	8,365	1,548,547
	改修費		10,683,750							10,683,750
	光熱水費		6,054,601			149,209	33,984	187,375	902,360	7,327,529
	委託費		5,968,777			160,255	667,834	155,358	715,719	7,667,943
	使用料及び賃借料				7,455				31,736	39,191
	施設にかかるコスト 計	816,500	49,138,764		1,640,455	1,942,464	2,447,168	1,680,075	26,153,180	83,818,606
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費		8,165,000			1,633,000				9,798,000
	嘱託職員人件費								285,020	285,020
	再任用職員人件費				432,617					432,617
	臨時職員人件費				3,718,825	691,765	294,518	688,886		5,393,994
	委託費		1,153,110	3,240,000						4,393,110
	使用料及び賃借料		51,310							51,310
	車両・備品購入費		458,635						371,070	829,705
	負担金補助及び交付金		4,550,000							4,550,000
	その他物件費		3,826,628		6,917	68,399	51,194	91,028	1,794,539	5,838,705
	事業運営にかかるコスト 計		18,467,183	3,257,850	4,173,959	2,393,164	345,712	779,914	2,450,629	31,868,411
現金収支を伴うコスト 計	816,500	67,605,947	3,257,850	5,814,414	4,335,628	2,792,880	2,459,989	28,603,809	115,687,017	
【収入の部】										
収入	使用料収入		2,000,950				3,000		486,660	2,490,610
	諸収入		4,471,416	218,012	40,900				24,300	4,754,628
収入の合計			6,472,366	218,012	40,900		3,000		510,960	7,245,238
II. 現金収支を伴わないもの										
コスト	減価償却相当額	1,583,920	26,153,200	1,320,000	4,376,320	2,816,000	—	1,725,920	12,482,960	50,458,320
III. 総括										
コストの部合計(トータルコスト)		2,400,420	93,759,147	4,577,850	10,190,734	7,151,628	2,792,880	4,185,909	41,086,769	166,145,337
収支差額(ネットコスト)		2,400,420	87,286,781	4,359,838	10,149,834	7,151,628	2,789,880	4,185,909	40,575,809	158,900,099

※浦頭引揚記念資料館の維持管理費は委託費に含んでいます。

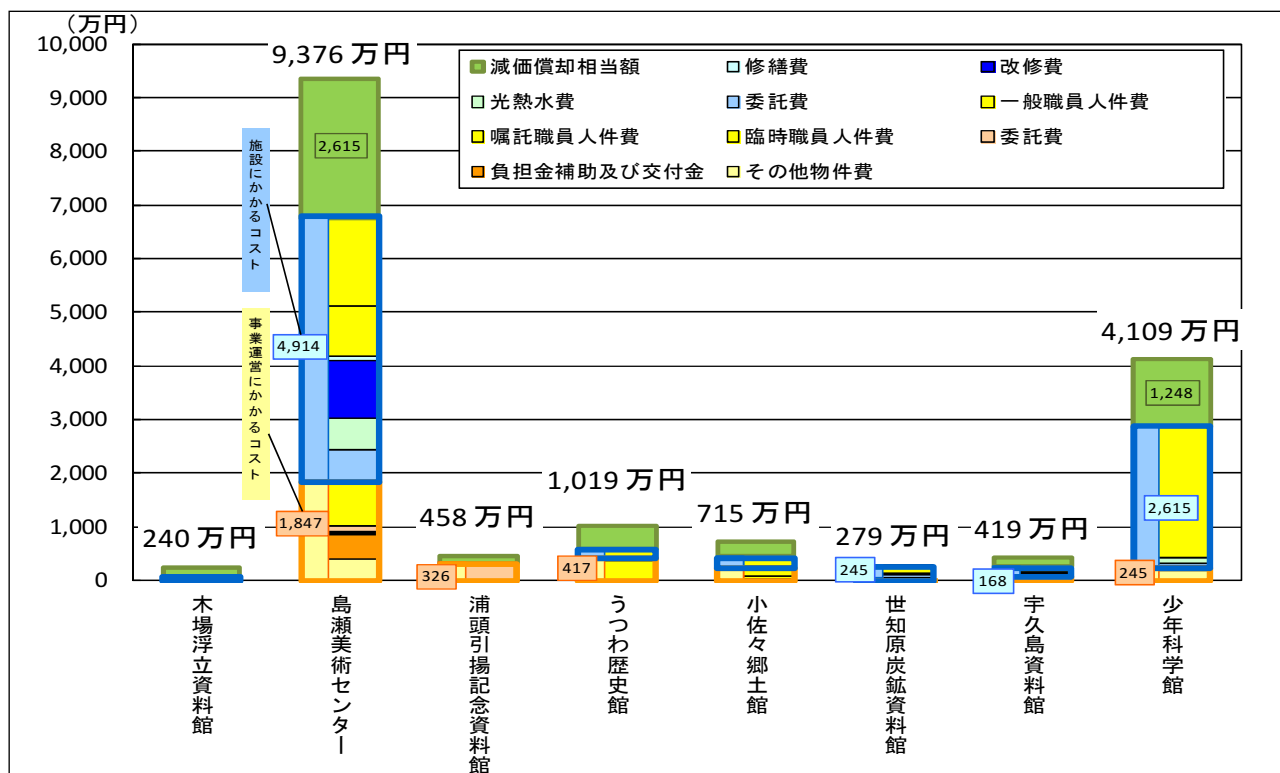
※うつわ歴史館の維持管理費は三川内地区公民館に含んでいます

図表 全施設トータルコスト（平成 22 年度）



施設別のトータルコストをみると、島瀬美術センターは9,376万円、少年科学館は4,109万円、うつわ歴史館が1,019万円となっています。その他の施設は、トータルコストが1,000万円以下となっています。

図表 施設別トータルコスト（平成22年度）

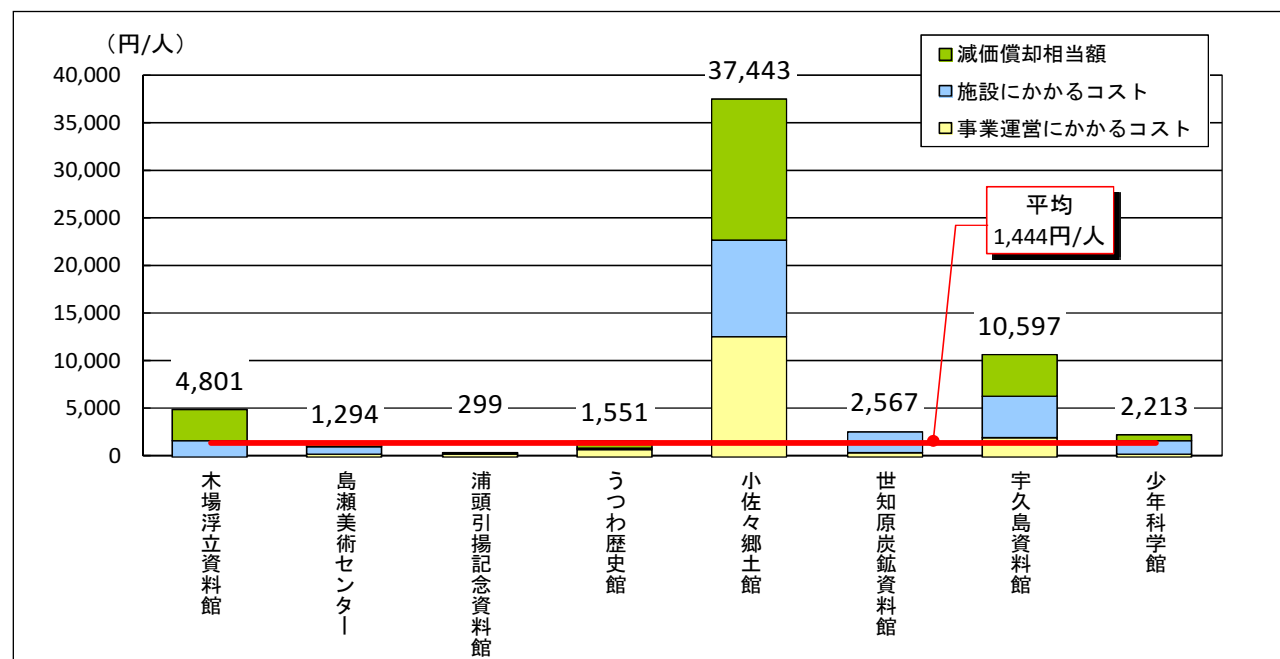


3) 評価・分析

■ 利用者数とトータルコストの関係（利用者1人当たりにかかるコスト）

利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、平均は1,444円です。施設別では、利用者が少ない小佐々郷土館が最も高く3万7,443円、浦頭引揚記念資料館が最も低く299円となっています。

図表 施設別利用者1人当たりにかかるコスト



4) 今後の検討の視点

- 木場浮立資料館等 5 施設は、老朽化が進行しており、今後耐震化及び老朽化対策が必要となります。改修等を行う際は、省エネ化・自然エネルギーの活用等、建物のライフサイクルコストの削減の観点から、効率的な施設整備を検討する必要があります。
- 1 日当たりの利用者数をみると、小佐々郷土館等 4 施設は 1 日当たり 1 人～3 人と、利用状況が低くなっています。今後は、市民ニーズを把握しながら運営の見直しなどを含め、利用状況の向上を図る必要があります。
- 厳しい財政状況下では、指定管理者制度導入等の運営形態の見直しなどを検討し、事業者の創意工夫による主催事業の開催等による利用向上及び効率的な運営を図る必要があります。